

## From service network BCS

ロードサービスで、お客様の信頼を得る総合カーサービスショップ

### カーテクノジャパン 株式会社

〒538-0053 大阪府大阪市鶴見区鶴見1-6-91  
tel.06-6913-8411 fax.06-6913-8414  
http://www.car-techno.jp/



「クルマの事だったら何でもご相談ください。」という「カーテクノジャパン」は、2008年1月にBASからBCSになり1年半になります。もとは四国自動車と日商岩井石油が前身というだけあって、間口が広い営業をモットーにしています。出迎えていただいたのは、常務取締役の谷口さんと、整備課の課長北村さんです。

#### BCSに加入したきっかけは？

「これからのワークショップは、どんなにいいスタッフに恵まれても、クルマを見るためのコンピューターがなければ、仕事ができません。これまでも当社はBASだったのでボッシュに近いところでずっと仕事をしていました。そのためBCSへの切り替えは当然の道筋だったんです。そういう設備投資は惜しんでられません。」という谷口常務。

#### BCSとして新たにスタートして以降、どのように変わりましたか？

BST(ボッシュ・システム・テクニシャン)を持つ整備課長北村さんも「KTSは、とても操作性がよく、整備現場でもデスクでもほんとに使用頻度が高いです。」とのこと。「うちは輸入車の入庫比率を考えると、約1割、月平均約50~60台が輸入車でBCSのネットワークが無くてはならない存在です。ディーラーが教えてくれない情報も、こうした協力体制があるということが最大のメリットですね。」

#### BCS店舗として、今後どのようなビジョンを持っていますか？

「新しいお客様を増やしていくことが、未来につながると 생각합니다。BCSとしての力を十分発揮して、技術力で仕事をとっていくこと。

新規開拓こそ可能性です。」という積極的なお言葉が谷口常務から返ってきました。「食欲になんでも挑戦する姿勢ということを若いスタッフに常日頃から言ってますし、それに応えてくれるスタッフがうちの財産です。」

「カーテクノジャパン」はロードサービスを積極的に行っている分、休んでいる暇はないということで、工場内は大忙しです。月平均500台の入庫に5人のメカニックがつき、拠点スタッフも約3名が対応するという従業員総勢は73名。KTS、FSAの機材はもちろん独自のネットワークで情報交換をするという、メカニックの探究心も旺盛といった印象です。

「いまの時代、いつも前を見ていないと、取り残されるだけ。やはり、最新の先端技術が世の中をつくっていくと思います。その点、ボッシュとの関係によって技術革新や必要なトレーニングがバックアップしてくれることはベストです。若いスタッフのやる気も違ってきます。」という北村課長。

「多くのお客様に信頼を得て喜ばれるベストサービスを目指そう!時代の先端を担い全員がプロ意識を持ったボディショップ経営を!物も心も豊かになろう!」というのが「カーテクノジャパン」の掲げる理念。

「クルマは、革新的に進化して、電子化と安全基準に対して研究開発は基より新素材の開発・構造の変更など、世界安全基準が必要になっています。そのことを、日々お客様にご理解いただけるよう切々と訴えています。」と谷口常務が締めくくってくれました。



大阪全域のロードサービスも行っているCar Techno Japan。常に入庫車両で埋まってしまう大忙しのエントランス。



広いビットのはずですが、満車御礼の状態です。



BCSは、2008年1月から参画



女性スタッフもなげにユニフォームがあります。

クルマ好きバイク好きの若いスタッフが多い。Car Techno Japanはスズキ、三菱自動車の販売協力店でもあります。



ECUの検証もデスクワークで確認できて便利です。



Car Techno Japanのステッカー。

ボッシュのテスターがいつも活躍しています。